

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年01月25日

計画の名称	新郷村の下水道における防災・安全対策の実現													
計画の期間	平成31年度 ~ 平成35年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	新郷村													
計画の目標	下水道施設の計画的な改築（更新・長寿命化対策）等を実施し、下水道としての基本的機能確保と水処理の安全対策を図り、安全・安心・快適な暮らしを実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		80	A	80	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	戸来浄化センターにおける改築実施率を、0%（H31当初）から、100%（H35末）に増加させる。	H31	H33	H35
	戸来浄化センターにおける改築実施率 改築実施済み設備数 / 改築対象設備数 × 100	0%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	H32	H33	H34	H35			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	新郷村	直接	新郷村	-	改築	戸来浄化センター・管渠	調査・設計等	新郷村						37	策定済	
	ストックマネジメント																		
	A07-002	下水道	一般	新郷村	直接	新郷村	終末処理場	改築	戸来浄化センター(水処理)	沈砂池設備(揚砂ポンプ)他	新郷村						14	策定済	
	ストックマネジメント																		
	A07-003	下水道	一般	新郷村	直接	新郷村	終末処理場	改築	戸来浄化センター(水処理)	共通・付帯設備(覆蓋)他	新郷村						20	策定済	
	ストックマネジメント																		
	A07-004	下水道	一般	新郷村	直接	新郷村	終末処理場	改築	戸来浄化センター(汚泥処理)	汚泥脱水設備(重量計)他	新郷村						9	策定済	
	ストックマネジメント																		
												小計						80	
	合計																		
																		80	

事前評価チェックシート

計画の名称： 新郷村の下水道における防災・安全対策の実現

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 ・下水道事業計画に基づく施設整備は既成しており、今後は効率的な管理・運営を図ることとしている。	
I. 目標の妥当性 地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
I. 目標の妥当性 ・効率的な管理・運営と地域住民の生命・財産の保護、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした、処理場・ポンプ場における機械・電気設備長寿命化計画及びストックマネジメントを立てている。	
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 ・整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 ・定量的指標は処理場における機械・電気設備の長寿命化対策状況を的確に捉えており、効率的な管理・運営に適した指標である。	
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 ・事業内容は下水道整備に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
II. 計画の効果・効率性 ・事業実施により、衛生面等居住環境の改善及び公共水域の水質改善が見込まれ、かつ地域全体の自然環境・生活環境の改善が期待できる。	
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 ・地域毎に住民説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○

